



## 巻頭言

# 危険物施設のさらなる安全確保に向けて

全国消防長会危険物委員会委員長  
川崎市消防局長  
日迫 善行



新型コロナウイルスが世界各地で猛威を振り、今も多くの人が犠牲となり、依然として出口がはっきりと見えない中で、私たちは常に不安を感じながらの生活を余儀なくされています。このような社会情勢の中、皆様には危険物事故防止等の推進に御尽力をいただき心より感謝申し上げます。

近年、危険物施設の事故を誘発する地震や豪雨のような広域的で大規模な自然災害が各地で頻発しています。

地震に関しましては、多くの被害を受けた平成23年3月の東日本大震災以降も各地で頻発しており、平成28年4月の熊本県熊本地方を震源とする地震、また、平成30年9月の北海道胆振地方中東部を震源とする地震では最大震度「7」を記録し、これらの地震によって被害を受けた危険物施設では、事業所の皆様にも災害防ぎよに御尽力頂きました。

なお、東日本大震災を契機に、総務省消防庁が取りまとめた「危険物施設の震災等対策ガイドライン」に基づき、各危険物施設において震災等対策を適切に実施することができるよう、事前に予防規程やその他のマニュアル等を明確にさせていただいたことで、震災による危険物施設に係る安全対策は、より一層高められ被害の軽減に繋がっています。

台風や豪雨による風水害に関しましても、多くの危険物施設が被害を受けており、豪雨による市街地への大規模な危険物流出事故や高潮による禁水性物質の火災など、社会的影響が大きな災害が全国で見受けられるようになってきました。これにより総務省消防庁では、こうした危険物施設の被害実態を整理・分析し、想定される災害リスクに応じて迅速かつ的確な応急対策が確保されるよう「危険物施設の風水害対策ガイドライン」をとりまとめ、危険物施設の形態別に風水害対策のポイントをチェックリストとして示されました。現在策定されている計画が、当ガイドラインを基に見直されることで、危険物施設における風水害対策のさらなる安全確保が期待できることと思います。

「安全」とは、たくさんある危険をひとつひとつ排除した結果生まれるもので、排除し続けることで安全な状態は維持されます。危険物に携わる皆様が、常に危険を感じ、危険を見つけ出し、危険を排除し続けるという考えの基、危険物施設のさらなる安全確保に御尽力いただくことを願ってやみません。

危険物委員会は、全国消防長会に設けられた事業推進委員会の1つで、全国の消防機関が、危険物施設の事故防止対策の推進を重点に、危険物火災予防の調査研究及び危険物等の規制・性状に係る研究・改善等に関する諸課題等について活発な情報交換のもと検討を行っています。今後も全国の消防機関が相互に連携し、危険物施設の事故防止に向け一体となって取り組んでまいり所存ですので、引き続き皆様の御支援・御協力をお願い申し上げます。